



KANAZAWA SEIRYO UNIVERSITY

金沢星稜大学

障がい学生支援チーム

世界ろう者陸上競技選手権大会  
1500m 優勝  
3分54秒11(日本ろう記録)

森光佑矢  
人間科学部  
スポーツ学科3年



2017年デフリンピック  
トルコ大会 出場濃厚!

6月28日、ブルガリアで行われた「第三回世界ろう者陸上競技選手権大会」に森光佑矢(人間科学部スポーツ学科3年)が出場し、日本ろう記録を5秒以上更新する、3分54秒11で世界一に輝いた。  
森光は、2017年にトルコで開かれるデフリンピックに出場することがほぼ濃厚であり、「デフリンピックでも金メダル目指す。」と掲げた。  
本学には、彼と同じく聴覚に障がいがある学生、沖田耐芽(人間科学部スポーツ学科4年)が在籍しており、二人の出会いは高校の「全国ろう学校陸上大会」まで遡る。高校時代はライバルであったが、現在は2人とも金沢星稜大学へ進学し、森光は「お互いに高め合える一番の仲間だ。」と語る。  
陸上競技部の練習でも健聴学生と同じように練習に励んでいる。部内でのコミュニケーションに苦労することもあるが、友人に通訳してもらったりとで健聴学生と意思疎通を図っている。聴覚障がい者にとって健聴者とコミュニケーションを取ることは1つの壁である。こうした問題を解決するためには、聴覚障がいについて理解し合うことが大切であるだろう。

ノートテイク支援が始まって、4年目…様々な課題が見えてきています。

手話でろう学生と交流してみたいけど、どうしたらいいかわからない…

ノートテイクで、情報がしっかりと伝わっているのか不安…

ノートテイクをスキルアップしたいけど、どうすればいいの…?

・「手話でもっとろう学生と交流したい!」そんな声を聞いて昨年から手話勉強会を始めました! 現在、ろう学生と親睦を深めるために手話のスキルアップに取り組んでいます。今後は手話もできるノートテイクをどんどん輩出します!  
・学年が上がるにつれ、講義内容が難度化し専門用語が多くなってきます。専門的な言葉が増えていく中で、情報支援の質を落とさずにノートテイクしていくかが1つの課題です。本学では、話し合いの場がまだまだ少ないため、講義内容をどのように工夫して要約していくかといった話し合いの場を増やし、ノートテイクの質を上げていきたいと思ひます。

【CONTACT】 金沢星稜大学 学生支援課

ADDRESS : 石川県金沢市御所町丑 10-1 TEL : 076-253-3925 E-mail : gakusei@seiryō-u.ac.jp